

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2006.10.15 No.448 (毎月2回発行)

いま、**学校現場** はこんなことに…

日本共産党のあきる野市議団の市内全小・中学校を訪問、そして、現場の先生達の話をお伝えしてきました。

なかでも、改修が遅れている、五日市中学と増戸中学の2校がもっともひどいと指摘されています。

そこで「学校現場のシリーズ-その三」として、五日市中学に現在通っている生徒さん二人と、父母の方にそれぞれ会って、その思いを聞いてみました。



五日市中学の正面入口

生徒と父母が語る 学び舎の実際 (五日市中の場合)

とにかく電話してみよう
とインタビュアーがかけたのは、五日市中学校のPTA役員のSさん宅。(2年の女子生徒のお母さんです)

PTAが要望書を出しても変化がない

Sさんは、「PTAが要望書をまとめて出していても改善されないの、子どももあきらめていようですよ。私より直接子どもに聞いてくださった方がいいのでは」と後日生徒さんと会うことに。

中2のSさんは、

「夏の冷房がないのが一番困ります。私のクラスは40人学級だから息苦しいくらいです。扇風機がや々と取り付けられましたが、そのため教室の埃が舞うんです。給食の時には本当にいやです。また、我慢出来ないで扇子を使うと先生に注意され没収です。」

「私たちの時と同じねと同期していた先輩が相づちをうち、続けて「ね、ねっ、お便所は今どうなってる?」の問いに

中2のSさんは、

「ベニヤ板一枚で男女が仕切られているだけです」との返事に先輩が「ええっ、それって、15年も変わってないじゃん。」

中2のSさんが、

「テニスコートの横の大きな水たまりも前からですか?」と聞くと、先輩が「それもそのままの1つ!」。

床が抜けても

ガムテープで止めて

つぎに会ったのは、3年生の生徒Kさん。

中3のKさんは、

「言ってもしょうがないです!」それでも特に感じるものをあげて話してみても「と水を向ける」と

中3のKさんは、

「床がぼこぼこの所が多いのですが、7月頃に3階のピアノ室でピアノを移動させようとしたら、床が2カ所も抜けて30センチぐらいの穴が空きました。後はどうしているの?」の問いに

中3のKさんは、

「ガムテープで塞いでいます。落とし穴みたいでこわいっすよ!、3階だから余計こわいっす。」

大規模改修と耐震診断の遅れが

去年までPTA役員をされていたOさんにもお話を聞きました。

Oさんは、

「全体が老朽化しているのに、改修予定が延びてい

耐震でも心配の所が多いです。また、教室が全体に狭くて、天井が低い気がしますね

「トイレ等にもおきますし、つぎはぎの感じで、一部洋式を入れたのはいいが面積はそのままで、中が狭くて身動きが出来ない所があります」

「どんな要望が多いのですか」の問いに、

Oさんは、「教室の冷房と冷水機設置の要望が一番です。職員

「どの要望が多いのですか」の問いに、

鳴にも似た声が聞こえてきます。

室や図書室などの特別室には冷房が入りますので用もないのに入って…などというところもあるようです。体育館の床も固いし、夏は風通しも悪く熱中症にならないかと心配するぐらい暑いのです。」

あと心配なのが「アスベスト使用の倉庫があります。これも予算がないというだけで、根本の解決ははかられていません。」

と、教育の現場からは、悲鳴にも似た声が聞こえてきます。

と、教育の現場からは、悲鳴にも似た声が聞こえてきます。

絵手紙/中田ひろみさん・高尾在住



女きょうだいで育ったわたしにとって、むすこは不思議なきものです。プリントをそのままランドセルに突っ込む、給食用ナプキンがぐちゃぐちゃでも気にしない…。ひょっとして!? とつれあいに聞いてみたら「ああ、おれもやってたなあ」。やっぱり! どうやら程度の差こそあれ男の子というイキモノの特性のようです。納得できたので、いまのところは観察中。「困ったときは相談してね」と言っているの、なにかあったら言ってくれるでしょう、多分。男の子らしさ女の子らしさを言うつもりはないけれど、それぞれのちがいはたしかにあります。無理に型にはめるより、ちがいはちがいとして楽しめたらいいなあとおもいます。

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

旅は「給へ」の転訛とされていて他人に食を求める意であった。それほど昔の旅は苦勞が多かったに違いない、その苦勞の積重ねが人の一生に似て人はよく「人生は旅のようなもの」といふ云い方を生まれてから死ぬまでいろいな人達との邂逅による成長や悔恨、入学・就職・結婚などによる意識の転換、様々な生活の変化は旅の山河の起伏にも似て、人を成長させ挫折もさせてゆく。◆青梅に生まれ育って青梅事件を知らず、今年「鉄道の証言」を読んだ。一九五二年、貨車流失事故で夫が強盗予備容疑者として逮捕された妻の野崎梅子さんの記録である。十五年の辛苦もさることながら、著者自身の成長の証しが鮮明であった。◆闘争支援の人達と共に、著者自身が若くして勤めた会社の図書室で知った「短歌」との出会いの師匠と仲間、その関わりで知る中西悟堂など、様々な人達との触れ合いが、著者の自己啓発と共に成長していった。◆十五年は「辛苦の旅」かもしれないが、掛け替えのない旅であったとも思う。(木崎)

野良望

紙芝居

ずいさんに声かけて!

教育基本法改悪反対で手作り紙芝居

佐山幹夫さん(平沢在住)



幼い頃に姉たちと紙芝居を作って楽しく遊んだ、小学生時代に神社の境内にやってくる紙芝居に胸おどらせた。教師になって自作の紙芝居を演じて子どもにほめてもらった。

石原都政下、予算削減で学校は立ち行かず、子供は競争と選り分けで傷つき、教職員は教える誇りを奪われている。それを全国に広げるのが今回の教育基本法改定だ。これを話し合うきっかけにと紙芝居を二巻作った。声をかけてください。喜んで上演にかけつけます。 佐山

元小学校教師の佐山幹夫さんは、安部首相の教育基本法改悪を阻止するため手作りの紙芝居を作って各種の集まりで上演活動をして、大好評です。

上の写真は、ベット生活の方のお宅で開かれた集まりで演じる佐山さん。みなさんから大拍手でした。

(二宮支部長 片野坂光典)

4年ぶりの開催に思いを馳せて..

期待するみなさんの声

11月3日(祝)4日(土)5日(日)

第39回 赤旗まつり



東京・江東区「夢の島公園」

◆ 草花 秋山京子 ◆
今年、初めて参加しようとして「赤旗まつり」を楽しみにしています。新しい出会いがあるワクワク感!地元の文化祭から一歩ふみ出して新しいものに触れてみましょう。

◆ 引田 西川 昇 ◆
四年ぶりの赤旗まつり。去年は楽しみにしていたが総選挙で中止。ほんとに残念だった。体力が許せば三日間フル参加したい。中央舞台が第一に見たい。

◆ 雨間 山西 建 ◆
赤旗まつりは、神戸で活動していたころ、招待されて参加した楽しい思い出があります。今年も楽しみにしています。

◆ 乙津 栗原美也 ◆
前回は参加した「赤旗まつり」規模の大きさと、催し物の充実さに只々感動した。生き生きとどの顔も明るかった。今年も見聴き、学び、そしてあの凄いな全園物産模擬店でお土産を。待

◆ 二宮 小池長之助 ◆
少しずつでも全部見たい。全園物産模擬店を食べながら見て歩くのがなんとも楽しい。大書籍市でわくわくする本を買ってサインを貰う。

◆ 小林富子 ◆
ち遠しい! 二宮 小林富子
「あきる野9条の会」野辺地区サポーターなので、きたがわてつの「日本国憲法の前文」や「9条」の歌を野外の大ステージで聞くのが一番の楽しみ。

◆ 野辺 渡辺照美 ◆
会場に着くと、人、人、人の波、共産党を好きな人(?)がこんなにいるんだといつも勇気づけられます。ペピーカーで参加した子どもたちも今では私はあそこが見たいと言うようになりました。今年もきつとサルの大道芸に夢中になること間違いなしです。

◆ 草花 森迫真喜 ◆
少しずつでも全部見たい。全園物産模擬店を食べながら見て歩くのがなんとも楽しい。大書籍市でわくわくする本を買ってサインを貰う。

◆ 二宮 小池長之助 ◆
少しずつでも全部見たい。全園物産模擬店を食べながら見て歩くのがなんとも楽しい。大書籍市でわくわくする本を買ってサインを貰う。

あきる野から連日直行バス運行!

五日市駅 7:40 → 下館谷バス停 7:43 → 伊奈バス停 7:45 → ヤサカ前 7:53 → 秋川駅 8:00 → 市役所 8:05 → 二宮パーク 8:10 → サミット電器 8:15

停車場と時刻表

歴史探訪

第28回 番外編——北九州の旅(5)

「倭人帯方東南海中に在り」から始まる「魏志倭人伝」によって「邪馬台国」の存在は認められつつも、位置の確定は未だ確認されていません。しかし奴国が博多湾沿岸である事は多くの学者の一致する所です。この博多湾の志賀島に埋められていた事自体が謎とされていますが、隠匿説・石棺墓説、風国となつての棄て説などいろいろあります。

問わず読み方に異論の学説もあり、宮崎康平は「カンノイネノクニ」と読んでいます。奇跡とも云える金印の発見に、もう一つの発見されない金印があります。A.D.三三九年、「邪馬台国」の卑弥呼は魏都・洛陽に大夫(部下)を派遣、奴婢や斑布を献上します。これに対し魏帝は、卑弥呼へ織物や黄金の他に金印「親魏倭王」と銅鏡百枚を与えます。特に銅鏡は当時の権力者の象徴として重んじられていた理由から、この銅鏡の出土分布が「邪馬台国」の位置の確定に大いに影響するとした説が強くあります。



金印「漢委奴国王」

印面文字は「カンノワノナノクニノウ」の読方が定説となつていますが、印面の「委」は漢から倭国を見た蔑称としての「夷」の代字とされています。又学者、アマチュアを

草花 木崎秀治

俳句

ぶどう摘ぐ葉陰に走る蚊急車
(富子)
騒音と続ひ街路の虫の声
(静子)
栄漬をつくる茗荷を摘みにけり
(やすこ)

虫すたく七夫に呼ばれて目覚めけり
(題代)
遠回りしてみたくなり虫の夜
(勝代)
登りきて高き丘なり葡萄園
(志浩)
月光を砕く高波拉致の海
(かほる)
両国の秋空へ打ち触れ太鼓
(香浩)